

| | | | |
|------------------|---|------|------|
| 事 項 | アルファルファの奨励品種「ケレス」の特性 | | |
| ね ら い | 本県に適するアルファルファの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を調査した結果「ケレス」が既存の奨励品種と比較して耐病性、永続性及び収量性が優れていることが明らかとなったので奨励品種として普及に移す。 | | |
| 普 及 す る 内 容 | <p>1 来 歴 雪印種苗株式会社において、海外導入品種約4,000個体からそばかす病抵抗性、パーティシリウム萎凋病抵抗性で選抜した18栄養系の合成品種である。</p> <p>2 特性の概要（標準品種「マキワカバ」との対比）</p> <p>(1) 発芽の良否：やや劣る。 (2) 萌芽の良否及び早春の草勢：同程度である。 (3) 越冬性：同程度である。 (4) 耐倒伏性：同程度である。 (5) 耐病性：優れる。 (6) 草 丈：各番草ともほぼ同じである。 (7) 収量性：乾物収量の3か年平均で112%の多収を示す。 (8) 永続性：欠株率が低いことから優れる。</p> | | |
| 期待される効果 | 粗飼料の安定生産に資する。 | | |
| 普及上の注意事項 | | | |
| 問い合わせ先 (電話番号) | 畜産研究所 酪農飼料環境部 (0175-64-2791) | 対象地域 | 県下全域 |
| 発表文献等 | | | |

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 生育特性

(平成22～25年 青森畜産研)

| 形 質 | 品 種 名 | | 備 考 (評点法) |
|-------------|-------|-----------------|--------------|
| | ケレス | マキワカバ (標準品種) | |
| 発芽の良否 | 6 | 7 | 1(極不良)～9(極良) |
| 萌芽の良否 | 5 | 5 | 〃 |
| 越冬性 | 3 | 2 | 〃 |
| 早春の草勢 | 5 | 5 | 〃 |
| 倒伏程度 | 5 | 5 | 1(無・極微)～9(甚) |
| 病害程度 | 3 | 5 | 〃 |
| 草丈(1番草) | 108 | 108 | cm |
| 草丈(2番草) | 93 | 92 | 〃 |
| 草丈(3番草) | 68 | 66 | 〃 |
| 再生草勢(1番後) | 6 | 5 | 1(極不良)～9(極良) |
| 再生草勢(盛夏期) | 6 | 5 | 〃 |
| 再生草勢(秋の刈取後) | 6 | 6 | 〃 |
| 欠株率(早春) | 20 | 40 | % |
| 欠株率(越冬前) | 12 | 20 | 〃 |
| 雑草程度 | 45 | 53 | 〃 |

- (注) 1 発芽の良否は平成22年秋、萌芽の良否及び早春の草勢は平成25年春の調査。
 2 越冬性は平成23～25年の3か年平均。
 3 倒伏は平成23年2,3番草、平成24年1,2番草、平成25年1,2番草に発生。
 4 病害は平成23年春に菌核病、平成23年秋・平成25年夏に葉枯れ性の病害、平成24年夏にそばかす病が発生した。
 5 欠株率は平成23～25年の3か年平均。
 6 雑草程度は平成25年3番草における雑草の生草重比。

表 2 利用年次別乾物収量 (kg/10a)

(平成23～25年 青森畜産研)

| 品 種 | 利用1年目 (平成23年) | 利用2年目 (平成24年) | 利用3年目 (平成25年) | 3か年平均 |
|----------|------------------|------------------|------------------|-------------|
| ケレス | 1,260 (135) | 1,084 (100) | 849 (101) | 1,064 (112) |
| マキワカバ(標) | 930 (100) | 1,084 (100) | 840 (100) | 951 (100) |

(注) () 数字は標準品種を100とした指数。

耕種概要

- 試験場所 畜産研究所内圃場
- 播種期、播種量及び播種方法 平成22年9月2日、1.0kg/10a
- 施肥量(10aあたり) 土壤改良資材：炭カル354kg、20%ようりん125 kg
 基肥：N-P₂O₅-K₂O=3-5-5 kg、牛糞堆肥4000kg
 追肥：(早春) N-P₂O₅-K₂O=3-5-4 kg、(刈取りごと) P₂O₅-K₂O=5-4 kg
- 刈取期 1番草：標準品種の開花始め
 再生草：生育日数40～50日で一斉刈りし、年3～4回刈取り